

令和6年11月前半分青果物使用品名と産地(11/1～11/17)

～生産（地）の状況～

ようやく、朝夕秋めいた涼しい日がやってきた。しかしながら、この気候が野菜に好影響を与えることは少々難しく、これまでの猛暑や干ばつなどの悪影響が、野菜の成長を足止めさせている。また、夏秋から秋冬へと産地が移っていくが、その切り替えも不順である。加えて高値水準が続いており、まだまだ価格の低下・安定が見られない状況でもある。

No	品名	産地
1	じゃがいも	北海道産
2	洗いさといも	県内・大分・宮崎産
3	さつまいも	県内産
4	人参	北海道産
5	キャベツ	県内・九州産
6	玉ねぎ	北海道産
7	もやし（小）	熊本市産
8	もやし（大）	大分産
9	ピーマン	県内産
10	胡瓜	熊本市産
11	細切りごぼう	鹿児島・青森産
12	ささがきごぼう	鹿児島・青森産
13	洗いごぼう	青森産
14	青ネギ	熊本市・県内産
15	白ネギ	県内・九州産
16	ほうれん草	熊本市産
17	チンゲン菜	熊本市産

No	品名	産地
18	小松菜	熊本市産
19	にら	熊本市産
20	セロリ	長野産
21	いんげん	県内・九州産
22	洗いレンコン	熊本市産
23	白菜	県内・九州・長野産
24	大根	県内産
25	にんにく	青森産
26	生姜	県内産
27	南瓜	北海道産
28	えのきだけ	長崎産
29	本しめじ	福岡産
30	エリンギ	長崎産
31	水菜	熊本市産
32	みかん	熊本市産
33	りんご	長野産
34	柿	和歌山産

食材の主な産地が、原子力災害対策本部が出した「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」の対象(放射性物質検査対象地域)自治体1都16県のものには、食品中の放射性セシウムスクリーニング法(厚生労働省)に準拠して、本市においても検査を実施しています。

※検査結果は、不検出でした。(測定下限値はセシウム-134、セシウム-137合計で25Bq/Kgです。)

※産地は、天候等の影響で変更になる場合があります。